

記入誤りの多い箇所を赤字で示しています。

(様式2)

(年号) 年 月 日

大阪府教育長 様

学校設置者名
代 表 者 氏 名

総入学定員数の2分の1をこえる留学生受入れに関する定期報告書

[年 { 5月
11月 } 現在]

〇〇年〇月〇日付けで申し出た標記のことに關し、受入状況等を下記のとおりに報告します。

記

＜学校名＞

学校の名称	
学校設置者・ 代表者氏名	(設置者) (代表者)
学校の所在地・ 連絡先	(住 所) (電 話)

【ア. 留学生の受入状況】

現 1 年 次 生 (令和7年度入学他)	入学許可した者	51 名
	既に退学・除籍した者	1 名
	現在、在籍している者	50 名(うち所在不明者 0 名)
現 2 年 次 生 (令和6年度入学他)	入学許可した者	45 名
	既に退学・除籍した者	1 名
	現在、在籍している者	44 名(うち所在不明者 0 名)
・ ・ ・	入学許可した者	名
	既に退学・除籍した者	名
	現在、在籍している者	名(うち所在不明者 名)
・ ・ ・	入学許可した者	名
	既に退学・除籍した者	名
	現在、在籍している者	名(うち所在不明者 名)

※ 地方入国管理局等に提出した「留学生名簿」(直近のもの)を添付すること。

記入誤りの多い箇所を赤字で示しています。

【イ. 当該年度内及び次年度における留学生の受入予定数】

〔当該年度〕

総入学定員数(*1)	80名 [×1/2=40名 (*3)]
留学生の受入予定数(*2)	50名

〔次年度〕

総入学定員数	名 [×1/2= 名 (*3)]
留学生の受入予定数	名

*1:「総入学定員数」;当該学校に設置されるすべての課程・学科を通じた全体の入学定員数(日本語教育機関等に係る定員とそれ以外の定員についても通算すること。)

*2:「留学生の受入予定数」;入学許可を行い、地方入国管理局等に対し、在留資格認定証明書の交付又は在留資格変更の許可に関する手続をとらせる予定である留学生の数

*3:小数点以下は切り捨てること。

【ウ. 在籍管理の実績】

①退学者・除籍者・所在不明者等の状況

時 期	内 訳
令和〇年 11 月	不入学; 〇名, 退学; 〇名, 除籍; 〇名, 所在不明; 〇名
令和〇年 12 月	不入学; 〇名, 退学; 〇名, 除籍; 1名, 所在不明; 〇名
令和〇年 1 月	不入学; 〇名, 退学; 〇名, 除籍; 〇名, 所在不明; 〇名
令和〇年 2 月	不入学; 〇名, 退学; 〇名, 除籍; 〇名, 所在不明; 〇名
令和〇年 3 月	不入学; 〇名, 退学; 2名, 除籍; 〇名, 所在不明; 〇名
令和〇年 4 月	不入学; 1名, 退学; 〇名, 除籍; 〇名, 所在不明; 〇名

※ 5月現在の報告にあつては、前年11月～当該年4月における退学者等の状況を記載すること。

11月現在の報告にあつては、当該年5月～10月における退学者等の状況を記載すること。

※ 各月について地方入国管理局等に提出した「退学者等名簿(留学)」を添付すること。

《11月現在の報告》

②地方入国管理局等による「適正校」・「非適正校」の判定に係る実績

		年
判 定	日本語教育機関等関係	適正校 ・ 非適正校
	日本語教育機関等以外関係	適正校 ・ 非適正校

※ 11月現在の報告に際しては、当該年に受けた地方入国管理局等による「適正校」・「非適正校」の判定結果を報告すること。ただし、報告時点まで地方入国管理局等からの判定が通知されていない場合には、通知を受けた後、すみやかに報告すること。

※ 日本語教育機関等関係とそれ以外の別ごとに適正校・非適正校のいずれか該当する方を○で囲むこと。

【エ. 留学生受入れのための組織体制】

①生活指導教職員・日本語指導教職員の配置状況

留学生の生活指導に係る業務を担当する教職員の数	名
	うち常勤の教職員であつて留学生の生活指導業務に専任する者の数 (名)
日本語指導を担当する教員の数(日本語教育機関以外)	名

記入誤りの多い箇所を赤字で示しています。

②その他留学生受入れのための組織体制等に関する事項

--

※ 必要に応じ、当該学校全体の教職員組織の状況が分かる資料等を添付すること。

【オ. その他特記事項】

--

以上、上記の記載事項について、相違ないことを誓約します。

年 月 日 学校代表者署名